

## 心 つるし雛飾り展示 を込めた手作りの品を展示

3月4日(月)から11日(月)までの8日間、鏡石まちの駅「かかんてらす」でつるし雛飾り展示が行われました。

飾られたつるし雛は、町生涯学習文化協会加盟のゆめクラブ(関根槇子代表)の8人が手作りしたものです。同団体は「かかん館(震災前まで旧JA購買店舗で開館)」の時から活動してきた団体で、震災後からつるし雛を作り続け、この度、かかんてらすでの展示が実現しました。



展示の準備をしたゆめクラブの皆さん



時計を手渡す佐藤会長(右)

## 愛 東京かがみいし会が時計を寄贈 される施設に

3月22日(金)、東京かがみいし会の佐藤輝雄会長が町長室を訪れ、鏡石まちの駅「かかんてらす」に壁掛け時計を寄贈しました。

会では、設立10周年の際にも駅舎に壁掛け時計を寄贈しており、ぜひかかんてらすにも設置したいとのことで、この度の寄贈となりました。佐藤会長は「かかんてらすが皆さんに愛される施設となるよう期待しています。会員の皆さんにも利用してもらえるようPRしたい」と話しました。

## 互 女性農業者との町長懇談会 いに理解を深め

3月20日(水)役場第一会議室で、女性農業者との町長懇談会が開催され、町内の女性農業者や農業委員、農協職員など16名の女性が参加し町長と懇談を行いました。

昨年からの女性農業者の座談会や視察研修が行われており、今回で3回目の事業となりました。懇談会では、「農業の魅力アップ」をテーマに、仕事の内容や思うことなどについて意見交換が行われ、参加者は、互いに協力できる点などについてアイデアを出し合うなどしながら懇親を深めていました。



意見交換をする参加者たち



佐藤園長から保育証書を受け取る鏡石幼稚園の園児(左)

## 新 祝! 卒業・卒園・満了式 たな門出を祝って

町内の各小・中学校、幼稚園、保育所等では卒業・卒園・満了式が行われ、子どもたちは大きな希望と小さな不安を胸に新天地へと旅立ちました。

鏡石幼稚園では、佐藤正幸園長から1人ひとりに保育証書が授与され、その保育証書は来場した保護者へ手渡されました。一回りも二回りも大きく成長した子どもたちの姿に、保護者や先生方の中には涙を流す方も多く、とても感動的な卒園式となっていました。

## 買 鏡石町協議体 い物便利マップが完成

鏡石町協議体が作成に取り組んできた「買い物便利マップ」が完成し、3月25日(月)の会議で披露されました。

このマップは、日々の買い物に苦勞されている高齢者等の支援のため、食料品等を取り扱う商店等の情報を掲載したもので、鏡石町協議体が昨年夏から作成を進めてきました。

今後、民生児童委員に協力いただいで配布されるほか、地区のサロン等でも配布される予定です。



マップの完成を喜ぶ鏡石町協議体メンバーの皆さん

## 永 永年勤続功労章受章を報告 年の功績を称え

3月6日(水)町消防団の稲田幸吉団長が町長室を訪れ、同日にニッショーホール(東京都)で開催された平成30年度消防功労者消防庁長官表彰式での標記受章を報告しました。

稲田団長は「皆さんに支えられて団員としての活動を続けていくことができました。受章に恥じないよう、今後も団一丸となって町民の安全・安心のために尽力していきます。団長として責任を持って職責を果たしていきたいと思っております」と喜びを語りました。



受章を報告する稲田団長(右)



演奏する二胡演奏家の同氏(左)

## 異 国際交流「ミニコンサート」 国の楽器に触れ

3月14日(水)鏡石まちの駅「かかんてらす」で、町国際交流推進協議会主催の「ミニコンサート」が行われ、会員など24人が来場しました。

ミニコンサートでは、中国人二胡演奏家の同治鋸(どうちこん)氏が、解説を交えながら二胡を演奏し、来場者は二胡の素敵な音色に聴き入っていました。二胡の演奏体験や二胡の音色に合わせた合唱なども行われ、来場者は貴重な体験を楽しんでいました。



グループワークの様子

## 意 認知症セミナー 見交換で知識深め

鏡石町・天栄村認知症初期集中支援チームによる「認知症セミナー」が3月9日(土)、文化の森てんえいで開催され、約80人が参加しました。

セミナーでは、針谷クリニック(鏡石町)の針谷医師がファシリテーターを務め、天栄クリニック(天栄村)の外島医師による「認知症を知ろう!」をテーマにした講演と、「どうする!? こんな時」を課題に、認知症の様々なケースについてのグループワークを行いました。